



地域子育て支援センター

1 月 号

ラポールだより

認定こども園
やまかげ保育園
090-3234-2362



あけまして
おめでとう
ございます

【すくすく広場の開催日程】

1月13日(火)・14日(水)・20日(火)・27日(火)
10:00~12:00

ラポールにて、お母さんと子どもと一緒に小物作りやおしゃべりを楽しんでください。
利用は無料。おやつや選べる飲み物もいろいろあります！お気軽においで下さい。

※20日(水)は、「かんざらし体験教室」です。お兄ちゃんお姉ちゃんは、
ママと一緒に作って楽しむこともできますよ！！

※1月24日(土)は、ふるさと伝承館にて『第61回 山陰保育園発表会』を行います。
和太鼓演奏や合奏、着物踊りに劇等、見ごたえある発表会です。どうぞお楽しみに。

初春



お雛飾り作り教室のおしらせ

桃の節句の準備は、ほんわか幸せな気分になりますね。お雛様や
菱餅、雛あられに白酒等いろいろ飾るのも楽しみのひとつです。
昨年も作って、とても好評だった「お雛飾り作り」のお知らせです。
世界中にただ一つのオリジナルお雛様は最高ですよ。

日 時：1月13日(火) 午前10時から

場 所：子育て支援センター ラポール



○ 南島原市保健センター情報 ○ こども未来課こども保健班 0957-73-6652

事業名	実施日	受付時間	場所	事業名	実施日	受付時間	場所
乳児 相談	1/21 (水)	個別に届く案 内をご確認 ください	布津	1歳6カ月 健診	1/16 (金)	12:15~ 12:45	北有馬
	1/22 (木)		北有馬	3歳児 健診	1/20 (火)	12:15~ 12:45	布津



すくすくランチのお知らせ

まだまだ寒い冬が続きます。心も体もホッとあたたまる料理や
おやつをみんなで囲んで食べて、寒さを吹き飛ばしましょう。

日 時：1月14日(火) 10:00~

場 所：子育て支援センター ラポール

ベビーフォトのお知らせ

いつも大人気のベビーフォトのお知らせです。
赤ちゃん大好きなご夫婦で、室内やお庭で最高の親子写真をたくさん撮って
もらえますよ♡ラフな格好でもバッチリ決めてきてもなんでもOKです。
※ユニクロさんの移動販売もきてくれます。セール品にベビーやキッズ物
も充実です。安心できる場所で、じっくりと選んでお買い物ができますよ。

日時：1月27日(火) 10:00~

場所：子育て支援センター ラポール





子どもは、お手伝いで大きく伸びる

子どもがお手伝いすることはとても良いこととわかっていても、幼児期のお手伝いは、手伝ってもらうとかえって大変。つい大人がやってしまいがちです。でも、子どもにとってお手伝いは、家庭の中でできる、**人の役に立つ**という大切な経験です。お手伝いしてもらったら、必ず感謝の気持ちを子どもに**言葉にして**伝えてあげましょう。褒められれば嬉しいから、また人のために、何かやってあげたいと思うようになると同時に、人の気持ちを考えることもできるようになっていくのです。



●自信と思いやりが育つ

家庭でお手伝いをする事で、自分の役割ができ、家族の一員という実感がもてます。自分が家族の役に立っているという経験は、子どもにとって、大きな自信につながります。ちょっとしたお手伝いでも、継続してやることと、「ありがとう」と感謝されることで、「また他のいろいろなお手伝いもやってあげたい」という意欲にもつながります。人の役に立つうれしさや満足感が味わえることで、人に対する思いやりの心を育てます。自分が人の役に立っている、という自信は、自尊心を育て、人のために何かしようと考え、思いやりのある子に育ちます。

●忍耐力を養う

やり通すこと、継続することで、我慢する力や、忍耐力が養えます。忍耐力はいろんな場面で必要な力です。友達と仲良く遊ぶためにも必要なことです。忍耐力があると、友達とのトラブルになった時など、自分をコントロールすることができるようになります。

幼児のお手伝いは、継続するというのはなかなか難しいことです。ですから、「自発的にできること」「楽しいと思うこと」を継続するところから、やってみるといいといわれます。自分に「役割」ができ、それを継続していれば、成長してからも、ずっと続けられます。やらされているお手伝いというのは、成長とともに、やらなくなってしまいますから、まずは、子どもの「やりたい」という気持ちが大切なのです。

継続の大切さを教えてあげたい時は、動植物を育ててみるお手伝いがおすすめ。動植物に、毎日きちんと食事や水などの世話をしないと、死んでしまったり、枯れてしまったりするからです。この明白な事実が、子どもにも、継続する大切さを理解しやすくするのもかもしれません。

●感謝する心を育む

お手伝いをずっと継続してやっていくことで、仕事の大変さを経験していくと、成長とともに、親への感謝の気持ちも育っていきます。それは同時に、「人に感謝する心」を育てます。

いつからはじめる？

やりたい時がやり時です。子どもがやりたがったら、それがチャンスです。子どものできそうな事をどしどしお手伝いしてもらって下さい。

もともと子どもは、お手伝いをするのが大好きです。子どもがお手伝いしたいと思う気持ちは、心身ともに成長している証です。自分の力を試してみたいという意欲の表れでもあります。自分からやりたいと言わない子どももやりたいと思っているかもしれません。「これをするの、いっしょにでつだってくれる？」と声をかけてみましょう。

年齢が小さいほど、できるお手伝いは限られるし、余計に時間がかかったり、仕事も二重手間になりますが、その分子どもに与えるいい影響が倍以上にあると思って、お手伝いをやらせてあげて下さい。子どもが手伝いを簡単にできるようにすこし工夫し、子どもができるお手伝いを上手く探すのも、親の腕の見せ所です。

少しのあいた時間でのお手伝いは、やめましょう。お手伝いに最適なのは休日の午前中です。午後や夕方では遊び疲れている可能性が高いからです。平日保育園がある日は、朝からお手伝いをさせないほうが賢明です。ただでさえ慌ただしい朝がますます忙しくなってしまいます。



☆絵本がお手伝いをサポート

小学館のアンケートで、93.2%のパパ・ママが「お子さんにお手伝いをしてもらうのに絵本は役立つ」と回答しています。そして実際にお手伝いに興味を持つきっかけになった、おすすめの絵本は、以下の作品です。

- 1位：『しろくまちゃんのほっとけーき』
- 2位：『はじめてのおつかい』
- 3位：『ぐりとぐら』
- 3位：『しろくまちゃんばんかいに』

